



キャッチフレーズ

つながりの街 USHIODA

第5期計画で力を入れたいこと

1 住民同士の“つながり”の輪を広げる

具体的な活動

- 1 日頃からのあいさつや登下校時の見守り・声かけ、身近な居場所を通した、つながりづくりを行ないます。
(例：高齢者サロン、子育てサロン)
- 2 子どもから高齢者、外国につながる方など世代や文化を超えた交流を深められるイベントを企画実施します。
(例：USHIODAフェスタ、クリスマスランタンフェスタ)
- 3 町の美化に協力して取り組み、住民同士のつながりをつくります。
(例：ごみの分別の啓発、地域清掃)



2 災害に備えて安心・安全なまちづくり

具体的な活動

- 1 地震だけでなく風水害にも備えて、防災訓練の呼びかけや内容の工夫を行う。小中高校生、若い世代、外国につながる方、障害のある方の参加を促します。
- 2 日頃から子ども、高齢者、障害者等の見守りを行い、地域みんなでの助けあう意識を高めていきます。
- 3 災害時要援護者の見守り、声かけ等の体制づくりを行っています。



3 地域みんな健康づくり

具体的な活動

- 1 地域の公共施設や福祉施設を活用し、地域での健康づくりの取組をさらに充実させます。
(例：ポッチャ、ラジオ体操、ウォーキング大会)
- 2 若い世代、外国につながる方も含めて、住民一人ひとりが健康づくりの意識を育てられる場・機会づくりを行い、発信します。
(例：掲示板の活用、情報発信の工夫)
- 3 健康づくりの取組に、認知症予防やフレイル予防の視点を加えていきます。



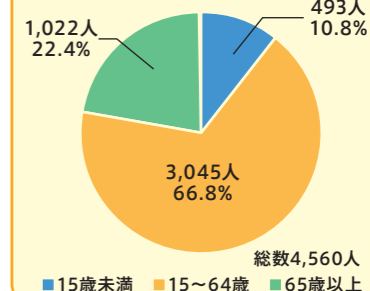
～第2回USHIODAフェスタの様子～ 2024.3.9

出典「横浜市統計ポータルサイト」、「住民基本台帳」(令和7年9月末日現在)※集計上の誤差があり、実際と一致しない場合があります。

DATA

地区幹線道路などが整い、住宅、店舗、工場などが混在しています。最寄り駅まで距離があるため、バスまたは自転車を利用する人が多い地域です。鶴見川などの自然があり、潮田神社、潮田公園などの歴史資源や公共施設があります。

【年齢3区分別人ログラフ】



第5期計画はこのようにつくりました

令和6年10月から令和7年2月にかけて、潮田中央地区あいねっと推進委員会にて合計3回のグループワークを実施し、できていること、地域課題や今後取り組みたいことなどを議論しました。第5期計画につながるポイントとして、多世代・多文化間の相互理解と交流、若い世代や外国につながる方の防災訓練への参加促進、健康づくりの場の情報発信についての工夫等を計画に盛り込みました。

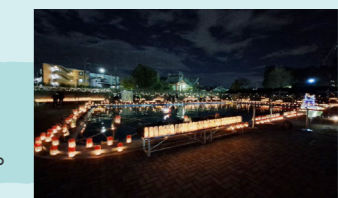


これまでの計画(第4期)の振り返り

つながりの街 USHIODA

目標① 住民同士の“つながり”の輪を広げる

子育てや高齢者サロンに多くの方が楽しみに参加してくれています。潮田公園やコミュニティハウスが多世代交流の場となっています。USHIODAフェスタ、ランタンフェスタがつながりの輪の場に成長しています。



ランタンフェスタ

目標② 災害に備えて安心・安全なまちづくり

防災訓練には多くの方が参加し、災害時に支援が必要となる方へ特に周知を実施しました。中学生や障害のある方、防災に関心な方に防災訓練への参加を促す方法が課題です。発災時に住民間で災害情報を共有する仕組みづくりに取り組む必要があります。

目標③ 地域みんな健康づくり

ラジオ体操、グランドゴルフ、モルック、ポッチャ、羽根つき大会などを実施しました。二次元コードの掲載など様々な世代の方にイベント情報が届くよう情報発信に工夫が必要です。子どもや外国につながる方がある方が参加しやすい健康づくりイベントの企画開催を進めます。